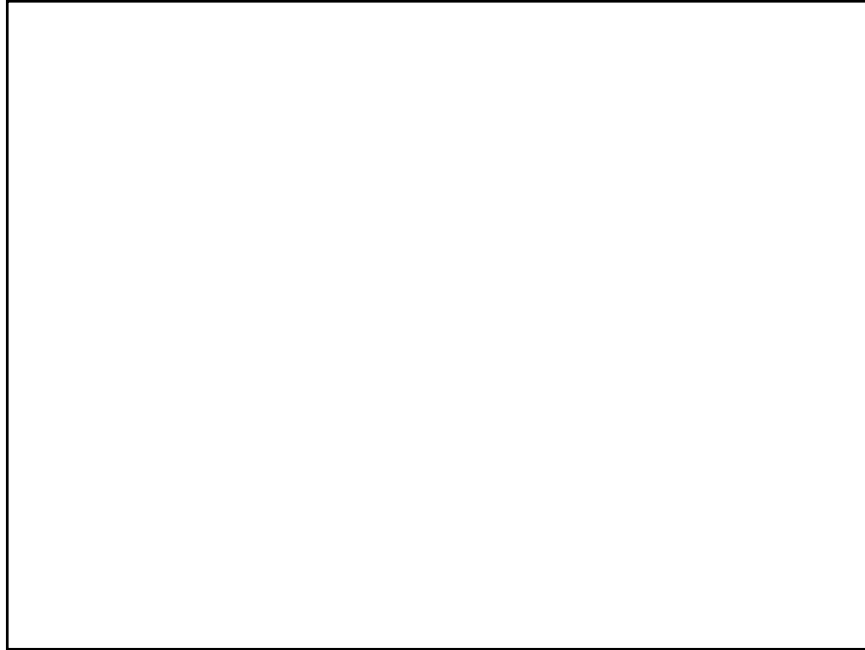


第232回 小児科北陸地方会
平成2年9月2日
於：富山医科薬科大学

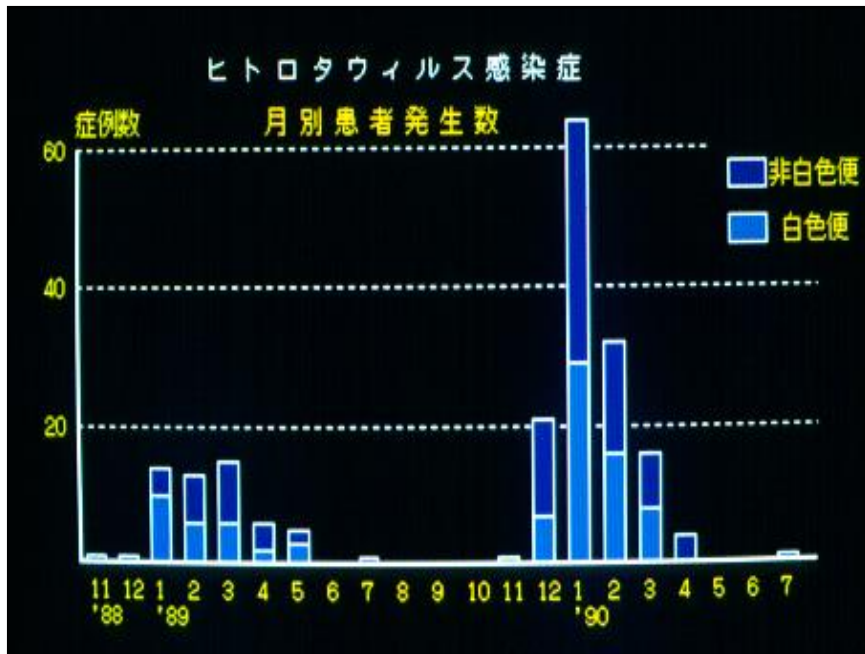
最近約2年間の白色便性下痢症と続発性乳糖不耐症
(ヒトロタウイルスと腸管アデノウイルスの対比において)

昨年、ヒトロタウイルス感染症は吐き下しばかりではなく、下痢のない症例もある事を報告しました。今回はヒトロタウイルスと腸管アデノウイルスを対比しながら、白色便の有無、乳糖不耐症の合併等を検討しましたので報告致します。

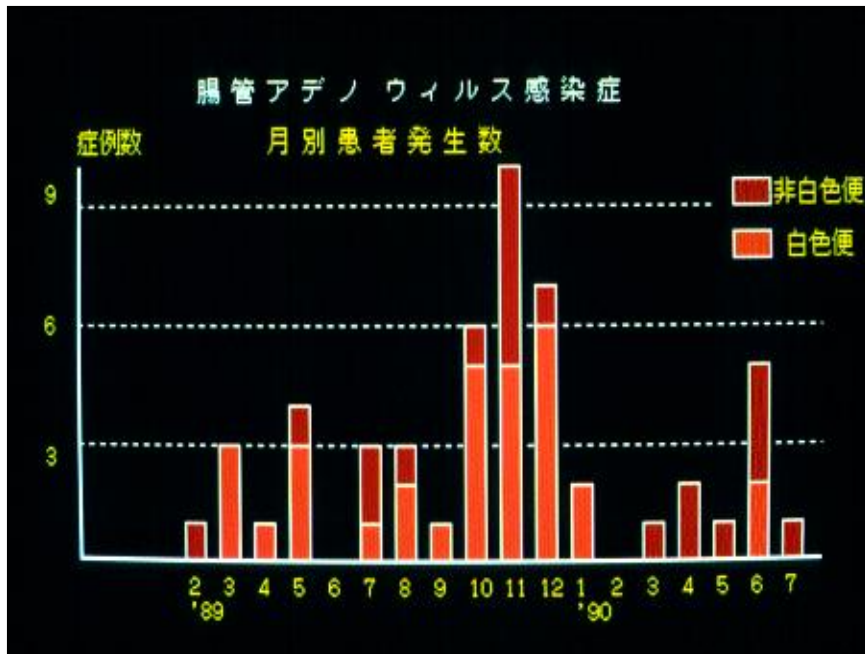


1 昨年の11月から今年の7月まで当院を受診し、糞便を検査したものの内、ヒトロタウイルス（以下ロタ）と腸管アデノウイルス（以下アデノ）の抗原が陽性のもの、糞便の色調が白っぽいもの、乳糖不耐症の合併していたもの、丁度計400例を検討しました。

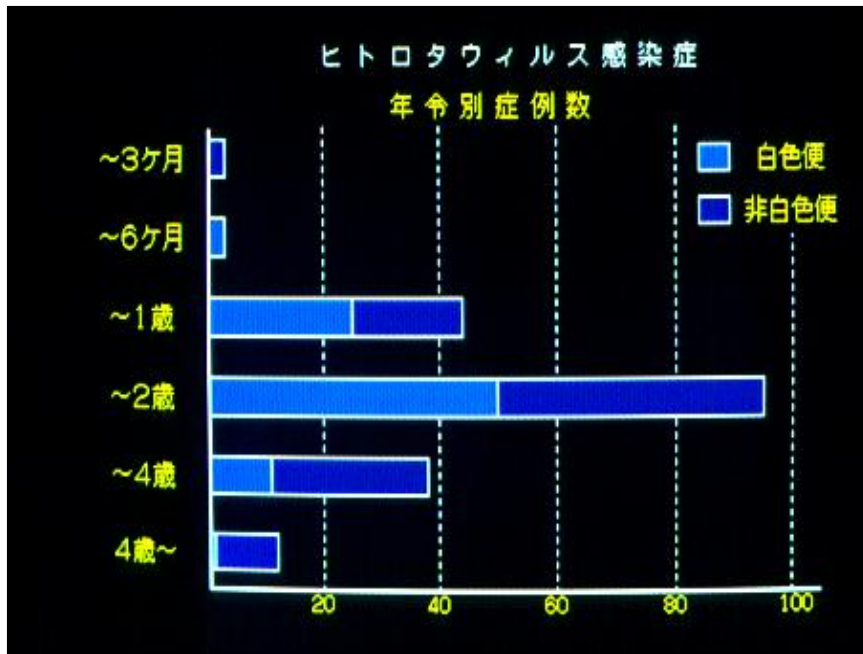
ロタは昨年5月まではオリオンダイアグノスチカ製、それ以降は栄研化学製のを、アデノはオリオンダイアグノスチカ製のそれぞれRPLAを用いました。白色便はいわゆる灰白色の糞便だけではなく、白っぽい色の便をも含め、全体の色調を色彩No.であるNCC-No.でカルテに記載し、後でその色彩No.から判断しました。乳糖不耐症はクリニテストを定法通り行い、母乳を飲んでいるものは、3/4%以上、母乳を飲んでいないものは1/2%以上で共にpH 5.4以下のものを陽性としました。乳糖負荷は施行していません。



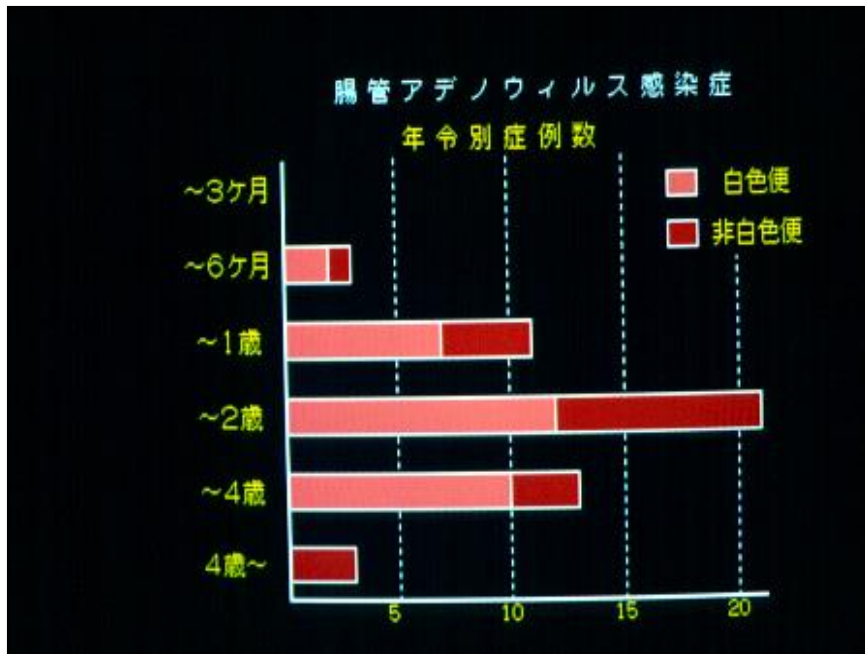
※ これはロタの月別のものです。昨年の冬、春は今年よりも少なく見えますが、昨年は開業して間もなく絶対数が少ない為です。白い部分は白色便を表しています。当然の事ですが冬から春にかけて多いようです。



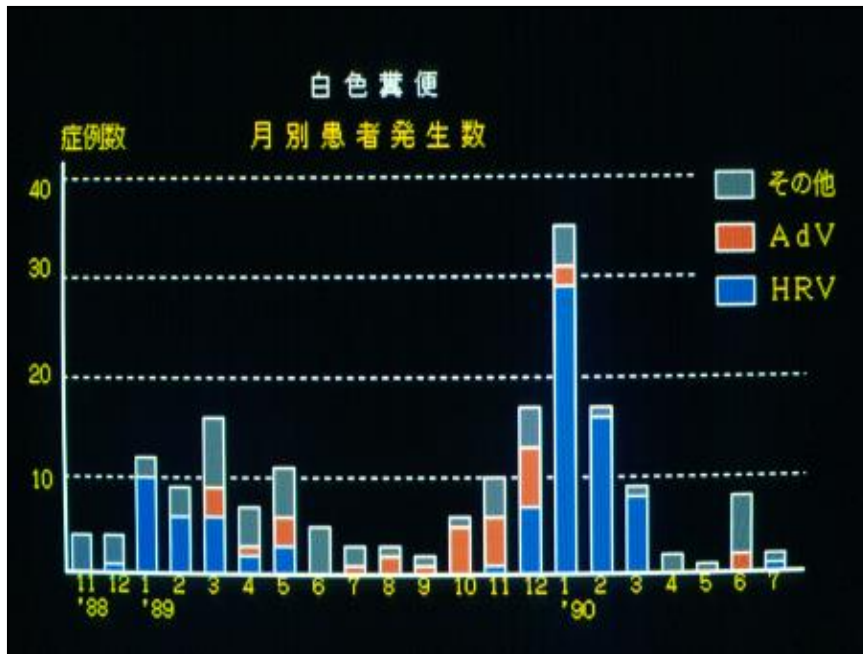
※ これはアデノの月別です。ロタのスライドとオーダーが違います。この2月以前は検査は施行しておりません。ロタと比べると頻度は少ないものの、通年あるようです。昨年の12月初旬、中旬の白痢はほとんどのこのアデノでしたが、下旬に急に寒くなると急にロタに入れ替わりました。それは症状、便の性状からは区別がつきませんでした。



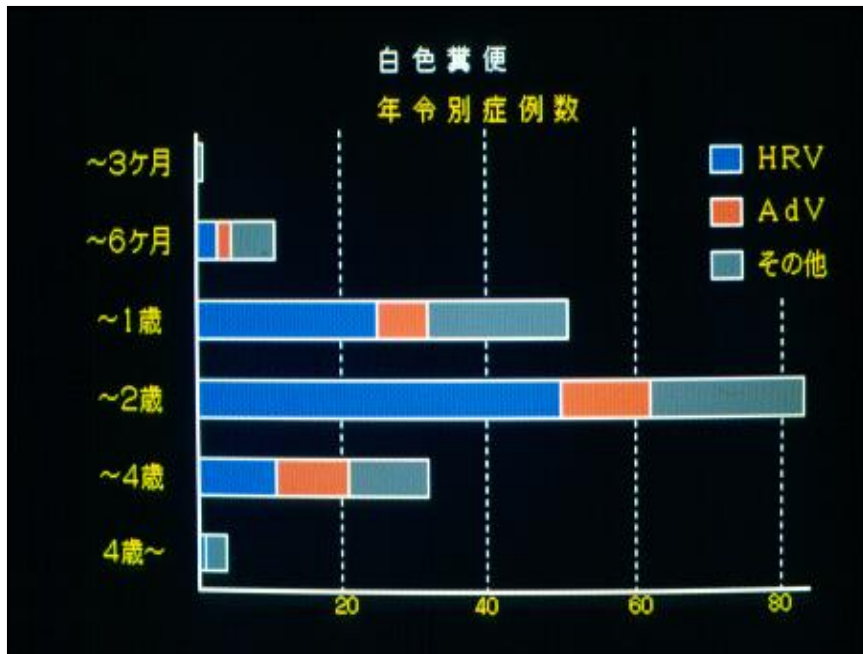
※ これはロタの年齢別のものです



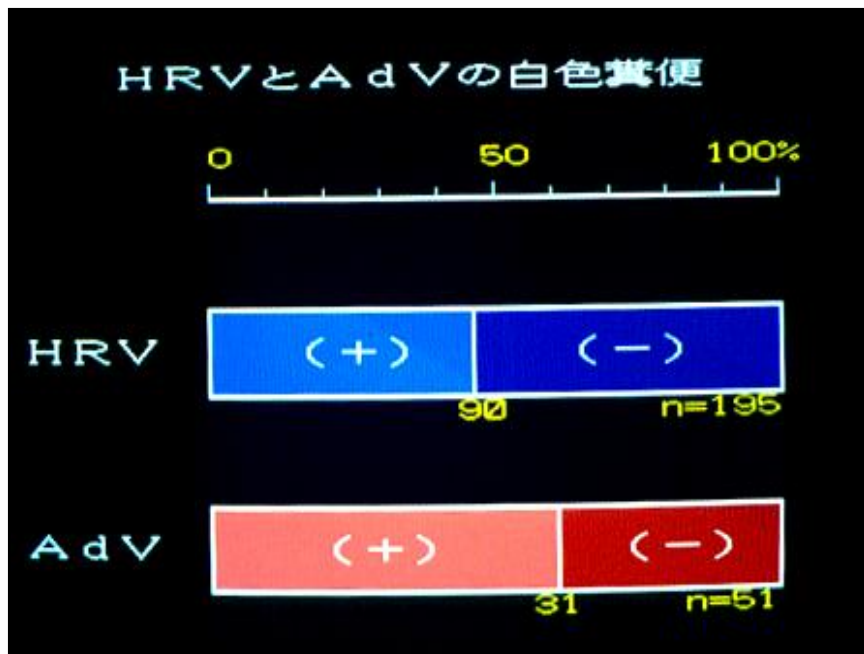
※ これはアデノの年齢別のものです。



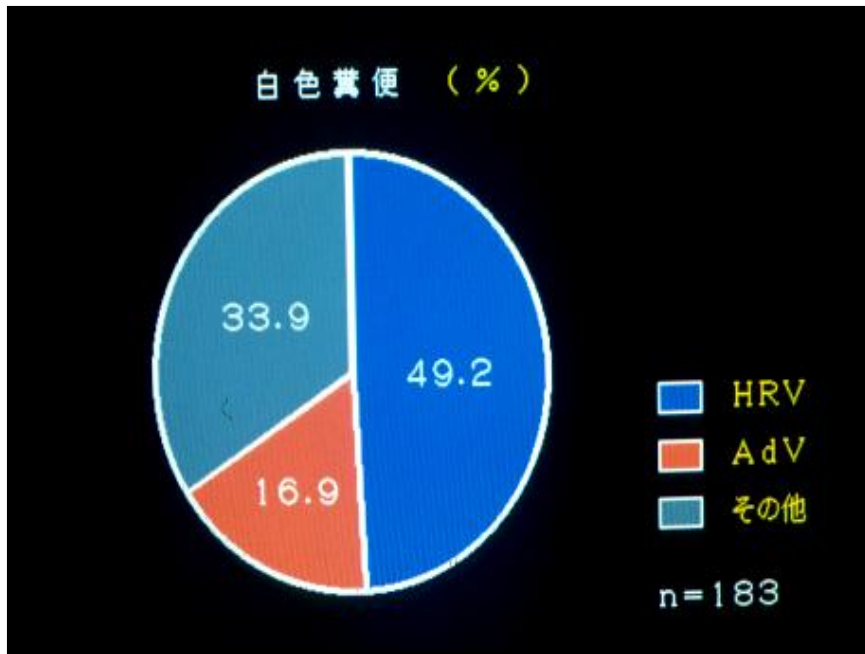
※ 白色便の月別のスライドです。ロタ、アデノは白色便だけの数です。感度が鋭敏なELISAで検査しておれば、このその他の部分が幾らかは減り、ロタ、アデノが幾らか増えると思われれます。また、その他の部分には、今年の春の福井愛育病院から報告のあったSRV等も含まれているのかも知れません。



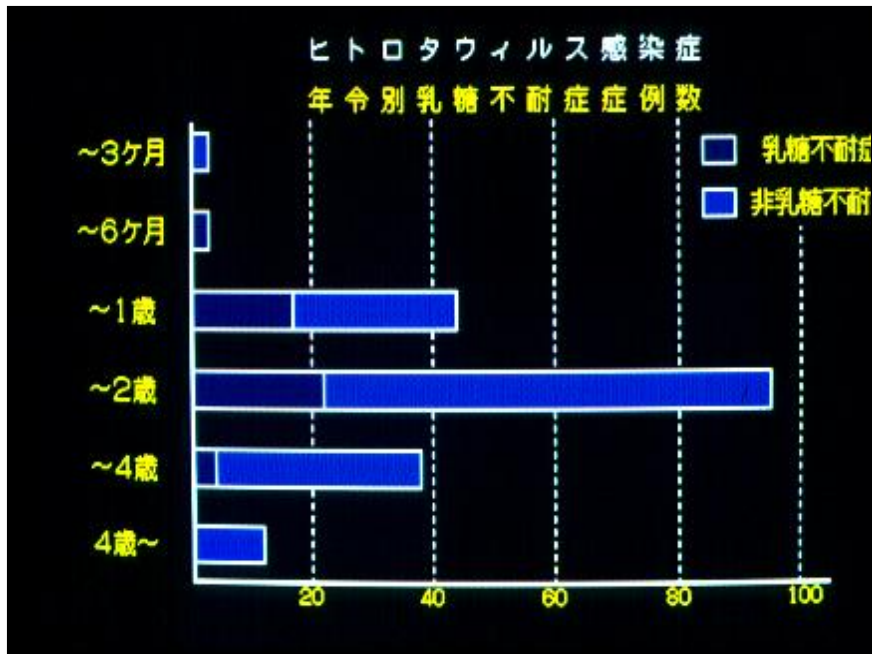
※ これは白色便の年齢別のスライドです。ロタもアデノもその他のものも1歳から2歳にピークが同じ様にあるようです。



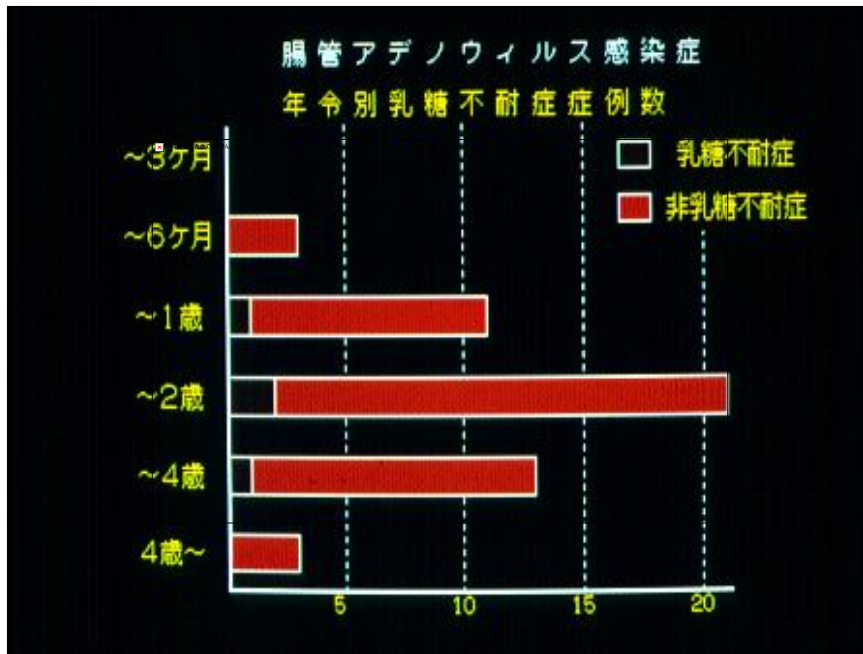
※ これはロタ、アデノだけを取り出して白色便の割合を表したスライドです。アデノの方が白っぽくなる率が高い様ですが、有意差はありませんでした。なお、糞便の色調は経過中の一番白っぽいものをデーターとして扱い、母親の申告や、観察していないものは、データーとして扱っていません。



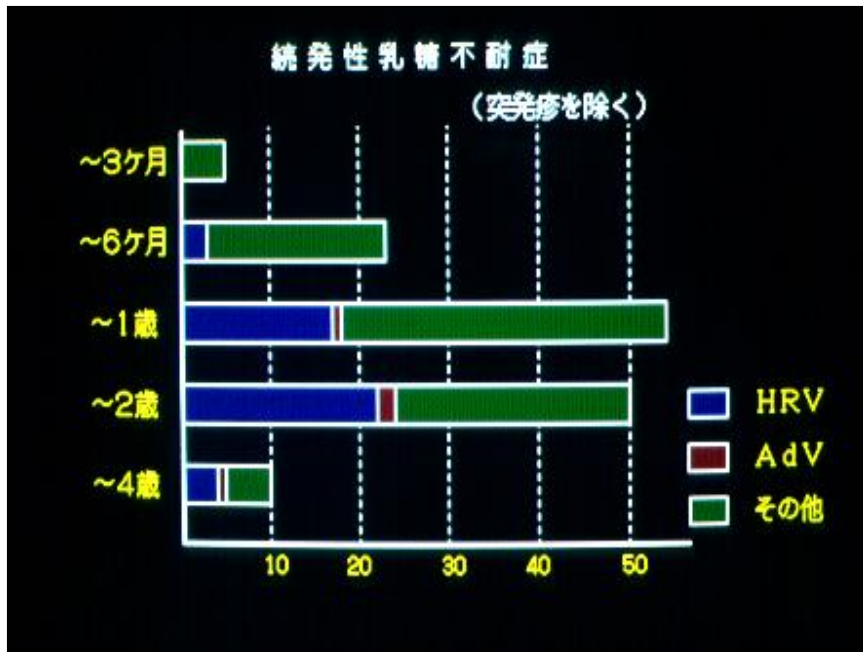
※ 白色糞便全体のロタ、アデノの占める割合のスライドです。



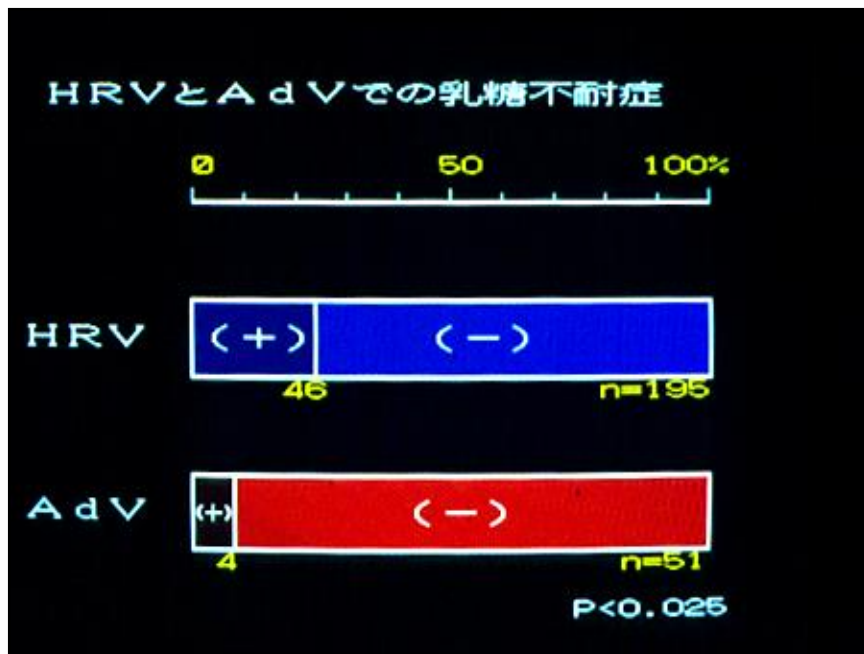
※ 今度は乳糖不耐症についてです。ロタの年齢別でこの暗い部分が乳糖不耐症の部分です。



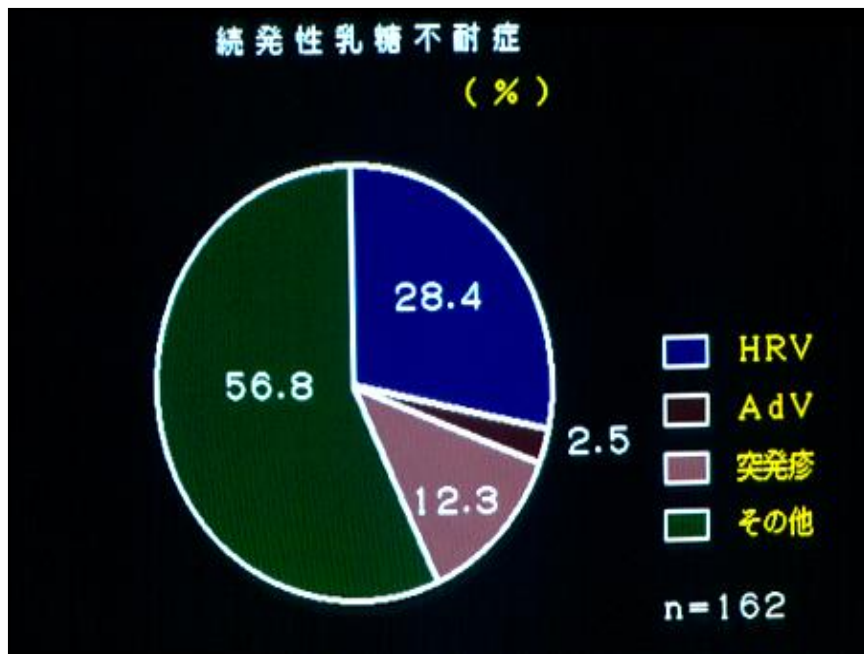
※ アデノです。ロタとオーダーが違います。



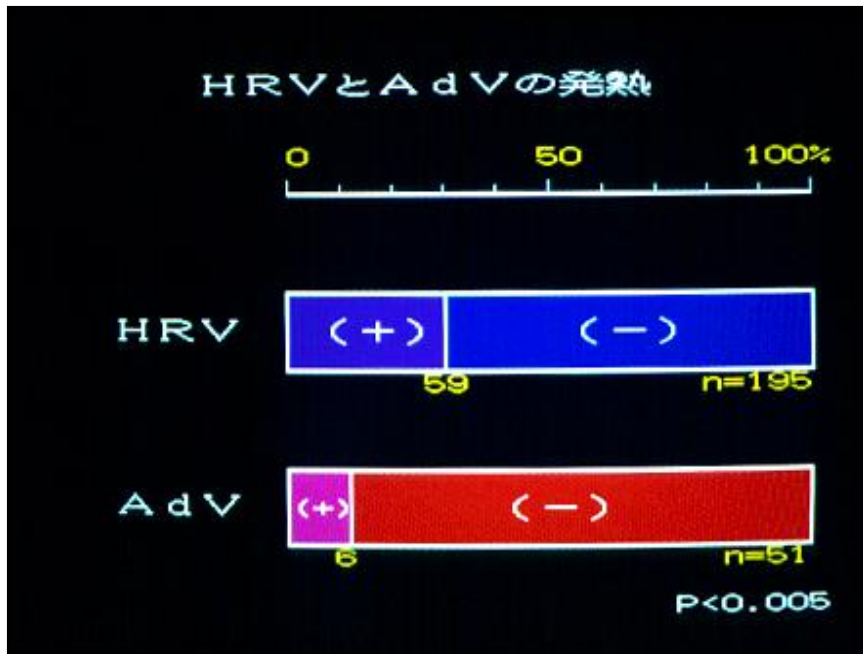
突発疹を除く乳糖不耐症からみた年齢別のスライドです。



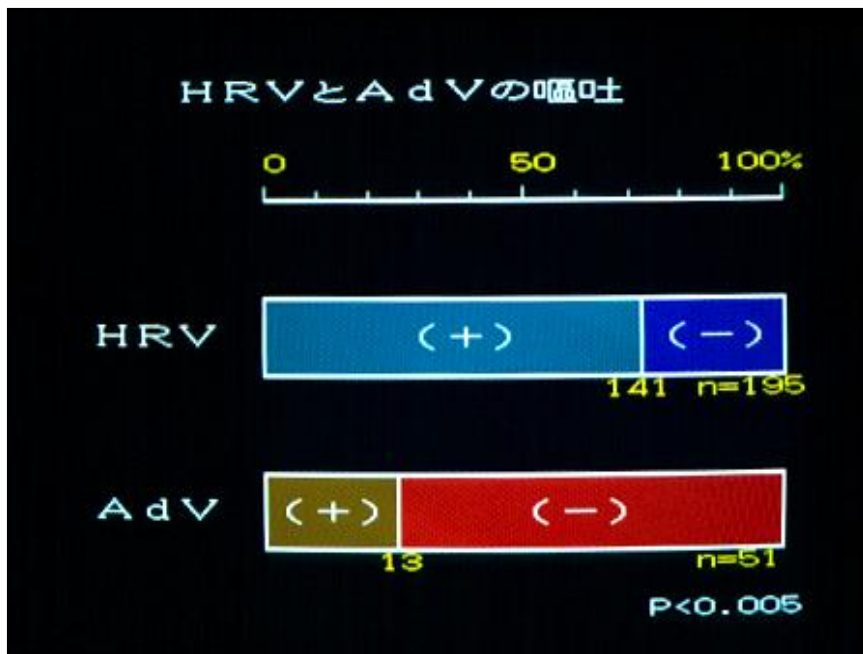
※ ロタとアデノを比較してみました。有意にロタの方が乳糖不耐症を合併しやすい様です。



※ 乳糖不耐症全体のスライドです。突発疹が19例ありました。しかし、突発疹の場合は下痢はそんなに激しくなく、また、乳糖不耐症の状態もそれ以外のものよりも簡単に解消されました。大多数の乳糖不耐症の場合、下痢が治まってから1週間乳糖を制限する事で充分でしたが、6例は再び乳糖を与えるとか、乳糖分解酵素を中断すると下痢が再燃しクリニテストが陽性となりました。このような例は4週間で大丈夫でした。また、一度なった児が再び乳糖不耐症になった患児は22例ありました。



※ これはロタとアデノの発熱のスライドです。ロタの方が有意に発熱しやすい様です。



※ これはロタとアデノの嘔吐のスライドです。ロタの方が有意に嘔吐の頻度が高い様です。しかしアデノでも吐き気が激しく、点滴の必要な症例もありました。

結語

- 1 AdVはHRVと同様に小児の吐き下しの原因の一つである
- 2 AdVもHRVと同様に糞便が白くなりやすい
- 3 HRVはAdVよりも乳糖不耐症を合併しやすい
- 4 HRVはAdVよりも嘔吐、発熱しやすい
- 5 HRVは冬に多い。AdVは通年であるが全体に頻度は少ない
- (6) 一般にAdVの方がHRVよりも症状が軽く、経過も短い
が、症状、糞便の性状からはAdVとHRVとは区別がつかない

※ 結語

- 1 AdVはHRVと同様に小児の吐き下しの原因の一つである。
- 2 AdVはHRVと同様に糞便が白くなりやすい。
- 3 HRVはAdVよりも乳糖不耐症を合併しやすい。
- 4 HRVはAdVよりも嘔吐、発熱しやすい。
- 5 HRVは冬季に多いが、AdVは通年であるが全体に頻度は少ない。
- 6 一般にAdVの方がHRVよりも症状が軽く、経過が短い
が、症状、糞便からAdVとHRVとは区別がつかない。